

教職員の おすすめ本

楽しく学べる本との出会い

看護学科助手 **工藤 若子**
クドウ ワカコ

この本との出会いは、5年程前に札幌で行われた学会に参加した時でした。当時私は、消化器外科病棟で看護師として働いていました。学会参加の経験が少なかったので雰囲気を楽しみながら、発表を見たり、聞いたりしました。

そんな中、学会に関連した書籍がずらりと並んでおり、ビビっときたのがこの本でした。まず、表紙の「ドレーンは語る」に興味を引かれ、中を確認後購入を即決定しました。消化器外科病棟では、術後ドレーン管理が必要な患者さんが沢山おり、まさにドレーンの How to が1冊に分かりやすくまとめて書いていました。この本の良い所は、「可

愛らしさ」「読みやすさ」です。「はたらく細胞」というアニメのように難しい病態を可愛くキャラクター付きで記載しているページもあります。患者さんにドレーンが挿入されてから、抜去されるまでどのような看護が必要かを楽しく学べる本だと思います。また、正常な経過だけではなく、術後合併症が起きてしまった時の看護も書いているので、役に立ちました。

今では教員として、急性期実習で病院に行く時に持参し、学生におすすめ本として紹介する時もあります。

他にも、可愛らしい表紙に引かれて購入した本がいくつかあります(心電図を見るとドキドキする人のためのモニター心電図レッスン; 医学書院、オールカラーまるごと図解循環器疾患; 照林社)。皆さんも、表紙が好きな本を見つけて、勉強してみるのもいいかもしれませんね。



『ドレーンは語る：消化器外科術後アセスメント』
夏目誠治
メディカ出版
494.65||N58



『心電図を見るとドキドキする人のためのモニター心電図レッスン：practical ECG monitoring』
大八木秀和
医学書院
492.123||O94



『まるごと図解循環器疾患：オールカラー』
大八木秀和
照林社
492.926||O94

